

**FUJITSU Software**  
**ServerView Infrastructure Manager V2.1**  
**仮想リソース管理機能の事前設定**

2017年9月  
富士通株式会社

| 改版履歴 |         |      |
|------|---------|------|
| 版数   | 提供年月    | 変更内容 |
| 01   | 2017年7月 | 新規作成 |
| 02   | 2017年9月 | 誤記修正 |

仮想化基盤の運用監視は、ServerView Infrastructure Manager V2.1 の仮想リソース管理機能を使用し  
て行えます。本書は仮想リソース管理機能に必要な事前設定の情報を提供します。

本書に記載の詳細や略語については、下記のマニュアルを参照してください。

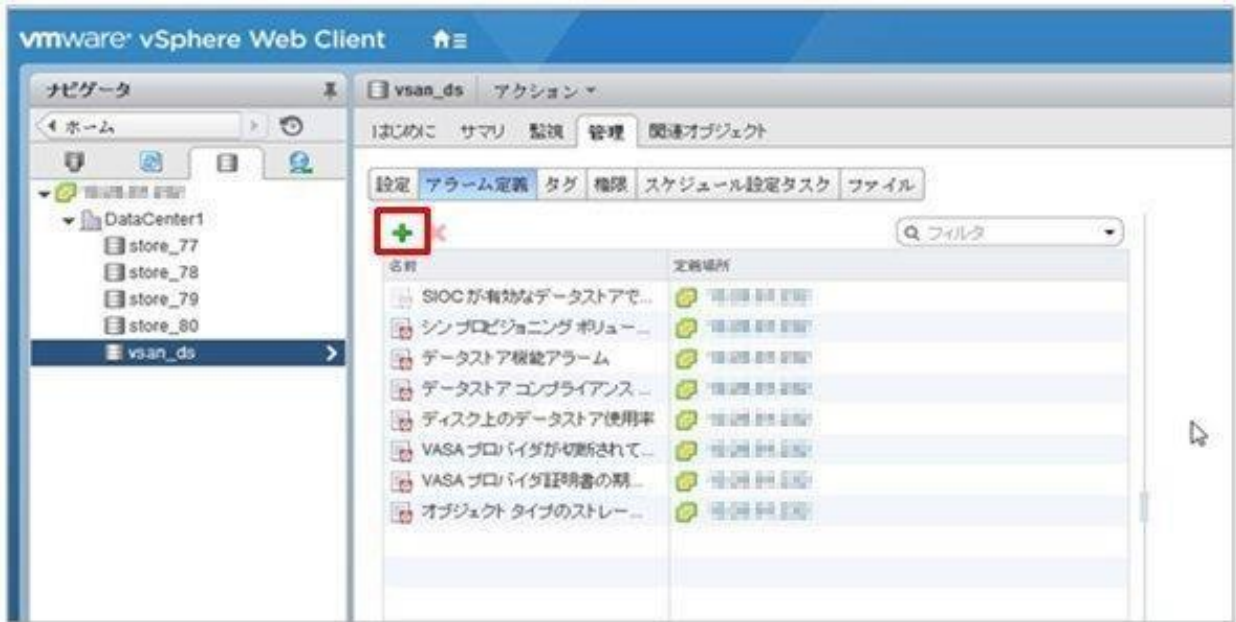
- FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.1 ユーザーズマニュアル
- FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.1 用語集

#### ■VMware VSAN の事前設定

VMware VSAN のホスト間のネットワーク断線による VSAN データストアの異常を検出できるようにす  
るためアラーム定義を行います。VSAN のアラーム定義の追加方法について説明します。

1. vSphere Web Client画面を表示します。[ホーム]からストレージビュータブを選択し、表示されたデ  
ータストアからVSANデータストアを選択します。(以下はVSANデータストア名が「vsan\_ds」の例  
です。)

表示された画面右側の[管理]タブ (vCenter Server Appliance 6.5の場合は[監視]タブから[問題]を選  
択) から[アラーム定義]を選択して[+]を選択します。

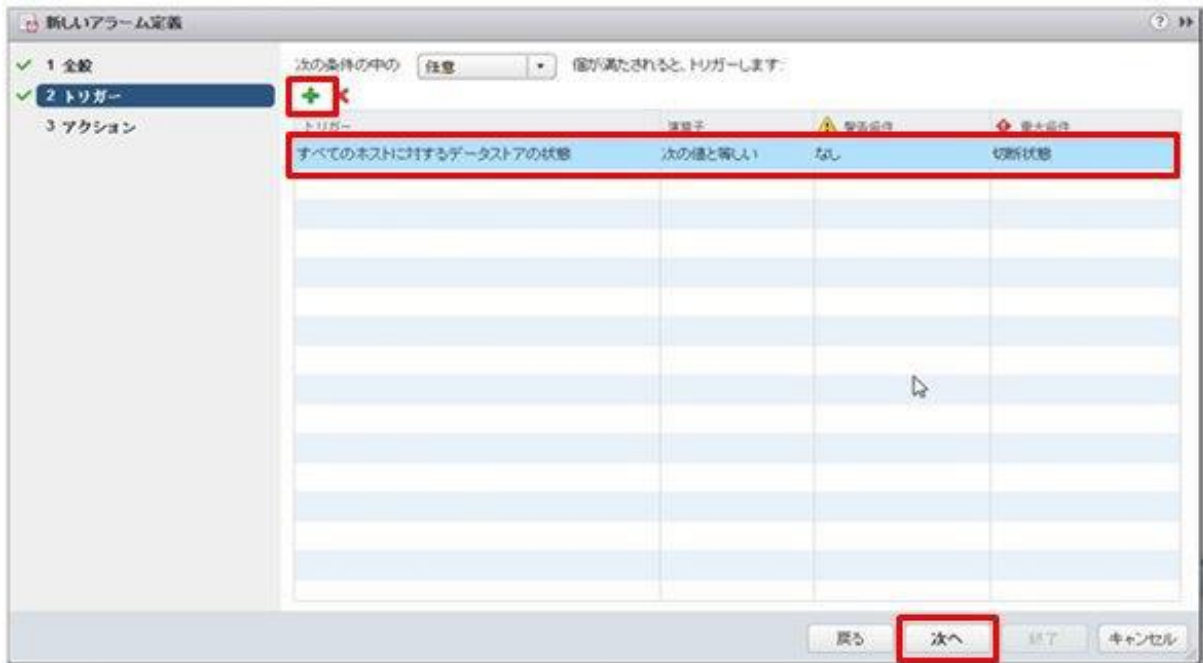


2. ウィザード画面が表示されるので、「アラーム名」と「説明」に下表のように入力して、[次へ]ボタンを選択します。



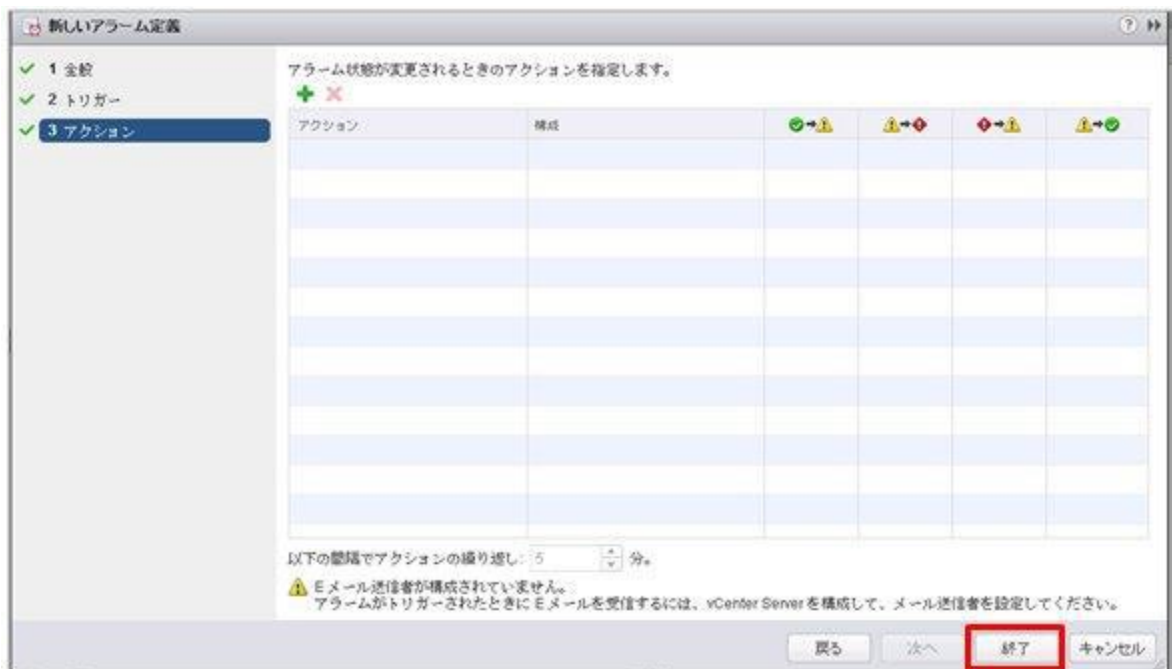
| 項目    | 入力内容                    |
|-------|-------------------------|
| アラーム名 | ホスト間ネットワークの断線           |
| 説明    | ホスト間のネットワークが断線した場合のアラーム |

3. 以下の画面で[+]を選択し、各項目を下表のように設定して、[次へ]ボタンを選択します。

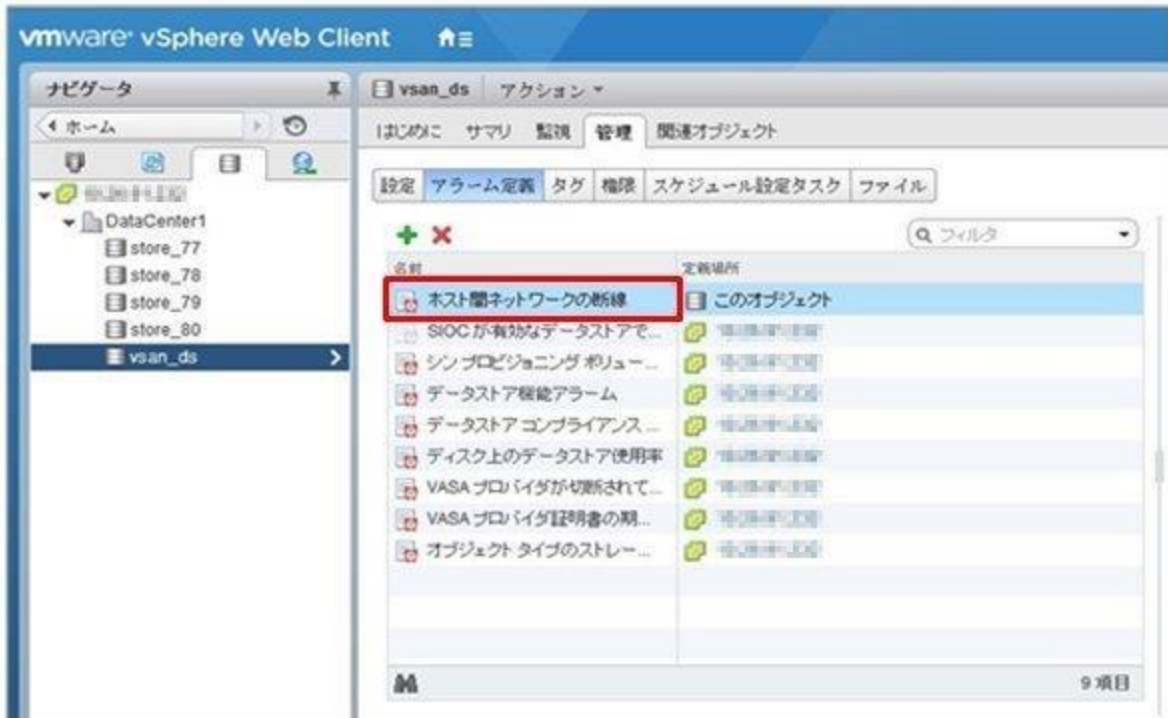


| 項目   | 設定値                  |
|------|----------------------|
| トリガー | すべてのホストに対するデータストアの状態 |
| 演算子  | 次の値と等しい              |
| 警告条件 | なし                   |
| 重大条件 | 切断状態                 |

4. アクションは設定不要です。[終了]ボタン（または[完了]ボタン）を選択します。



5. 完了すると、アラーム定義に新しい定義が追加されます。



## ■ Storage Spaces Direct の事前設定

Microsoft Storage Spaces Direct の運用管理を行うために、ISM-VA に対して OS 監視の設定、および記憶域プールを構成するすべてのノードに対して CredSSP 認証の有効化が必要です。以下の手順で実施してください。

### ISM-VAへの設定

ISM から OS 監視をするための設定を行います。設定方法については、「FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.1 監視対象 OS、仮想化管理ソフトウェアに対する設定」の（2.1 Windows への設定手順）を参照してください。

### ノードへの設定

記憶域プールを構成するすべてのノードに対して CredSSP 認証の有効化を設定します。

#### 注意

---

---

本設定を行わない場合、Storage Spaces Direct に対して仮想リソース管理機能が利用できません。また、記憶域プールを構成するノードは、サーバーマネージャーまたはフェイルオーバークラスタマネージャーから確認できます。

---

---

1. ノードにドメイン管理者権限のユーザーでログインし、PowerShellを起動します。
2. 以下のコマンドを実行します。

```
Enable-WSManCredSSP -Role client -DelegateComputer <対象ノード（コンピューター）名>
```

ドメイン内のすべてのコンピューター名の指定には、ワイルドカード（\*）を使用できます。

例：

```
Enable-WSManCredSSP -Role client -DelegateComputer *.fujitsu.local
```

3. 続いて以下のコマンドを実行します。

```
Enable-WSManCredSSP -Role server
```

以上